

チェリーセイジ『キルシェレッド』『キルシェピンク』の施工・管理方法

基本的な性質

分類	半常緑低木（秋の施肥により常緑化が可能）
栽培エリア	関東以西（仙台では、地上部全体が枯死）
日照条件	半日以上の直射日照が必要（70%遮光までは生長可能だが、徒長しやすい）
開花期間	4月下旬～11月下旬（生長期間中は連続開花）
樹高	50～80cm（100cm以上になると、風害の恐れあり）
生長速度	非常に早い（9cmポット苗が、3ヵ月後には株張り30cm以上）
施肥量	多い（生長が早いため、要求施肥量も多い）

植栽工事

施工時期	春季、秋季（真夏と冬の施工は避ける、温室生産物は3月下旬から使用可能）
土壌改良	特に選ばないが、保水性が高いほうが望ましい。
植栽密度	キルシェレッド：4株/m ² （9cmポット苗使用時で約3ヵ月後に緑地完成） キルシェピンク：4～9株/m ² （4株/m ² の場合、約4ヶ月後に緑地完成）
元肥	5gN/m ² （即効性）～10gN/m ² （緩効性）

管理

スケジュール

作業	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
植付け			←			→			←	→		
剪定						←→	伸びすぎた場合		←	→		必須
追肥						←→			←	→		
薬剤散布				←						→		

剪定

- 刈高40～50cmを目安に刈込みを実施。（葉が残っていることが望ましい）
- 注意事項：夏季の強剪定は避ける（真夏に葉がないと、温度上昇により枯死する可能性がある）
- 秋に剪定を行なうことにより、耐寒性のある葉が伸び、常緑で冬越し可能。春の開花も早い。

追肥

- 初期は、年間20gN/m²を目安に初夏と秋に追肥を行なう。（緩効性タイプ[IB化成等]が望ましい）
- 2～3年後は、葉色を見ながら追肥を判断する。（通常はやや濃い緑、黄緑色は肥料不足）

薬剤散布

- 病害虫の被害は少ないが、まれにアブラムシ等が発生する。
- 薬害については特に発生がないため、病害に合わせた薬剤を散布する。



鞍が池 05年3月20日
(9cmポット苗、3.5株/m²)



2.5ヵ月後

05年6月7日



刈込み1ヶ月後のイメージ(11月上旬)